

節水によるエネルギー削減効果を CO₂ 削減量に換算
上下水道の「水の CO₂ 換算係数」を算定・公表しました
～環境省提供の Web サイト「しんきゅうさん」に採用～

一般社団法人 日本レストルーム工業会(本部:愛知県名古屋市、会長:喜多村 円(TOTO 株式会社 代表取締役 社長執行役員))では、製品の節水性能による CO₂ 削減量を算定する場合に、消費者の皆様が数値を比較しやすくすることを目的に、2018 年 5 月に「水の CO₂ 換算係数」を算定・公表しました。
また、この数値は同年7月より環境省が提供する Web サイト「しんきゅうさん」にも採用されました。

上下水道に接続される水まわり製品を使用することによって発生する水使用に由来する CO₂ 排出量の算出に当たり、当工業会では、次の換算係数を用いて計算することを推奨しています。

水の CO₂ 換算係数

0.54kgCO₂/m³

- *1 出典:公益社団法人日本水道協会発行「水道統計」、公益社団法人日本下水道協会公開「下水道全国データベース」
- *2 工場排水等の CO₂ 排出量を算出することは考慮しておりません。
- *3 CO₂ 換算係数 : 上水道 CO₂ 換算係数(CO₂ 排出量 ÷ 上水道給水量) + 下水道 CO₂ 換算係数(CO₂ 排出量 ÷ 下水道処理水量)
- *4 公表値 : 2017 年度までに発表された過去 5 年間の実績データを元に CO₂ 換算係数を算出し、その 5 年間を平均した値
- *5 2018 年 4 月確認 (数値は毎年確認し、必要に応じて更新予定)

【係数算定の目的】

低炭素・循環型社会の実現に向けた企業取り組みの一環として、会員各社では、よりエネルギー消費量の少ないエコ製品の開発・販売を進めており、そのエネルギー削減効果を CO₂ 削減量に換算し、各社ホームページやカタログ等で消費者に分かりやすく製品の環境貢献効果を訴求しています。

そこで、当工業会では、消費者の皆様には誤解や混乱を与えないように、各社が同じ尺度で CO₂ 削減量を算定できるよう「水の CO₂ 換算係数」の推奨値を取り纏めて公表いたしました。

※換算係数の考え方など、詳細は工業会HPをご覧ください。

URL: <http://www.sanitary-net.com/news/news1292>

「一般社団法人 日本レストルーム工業会」会員企業(2018年9月現在)

アイシン精機株式会社、アサヒ衛陶株式会社、SANEI株式会社、ジャニス工業株式会社、
東芝ホームテクノ株式会社、TOTO 株式会社、パナソニック株式会社、株式会社 LIXIL

<本件に関する問い合わせ先>

一般社団法人 日本レストルーム工業会 担当:福浦・立石 TEL:03-5206-5493
(東京都新宿区市谷田町2-29 こくほ21 5階)

工業会ホームページ: <http://www.sanitary-net.com/>

＜参考＞「しんきゅうさん」について

「しんきゅうさん」とは環境省が提供する Web サイト。省エネ製品買換ナビゲーションとして無料で利用できる。照明（ランプ）、エアコン、冷蔵庫、テレビなどの家電製品を現在のものから、省エネ性能の高いものに切り替えた場合の CO₂（二酸化炭素）排出量の削減量などがシミュレーションできる。

また、CO₂削減効果だけではなく、光熱費（電気代）の削減額なども一緒に調べることができる

＜環境ビジネス用語辞典より＞

「しんきゅうさん」URL: <https://ondankataisaku.env.go.jp/shinkyusan/>